



QRコードがついた写真は、
「市公式YouTube」から動画
でご覧いただけます。
市公式YouTubeチャンネルはこちらから▲



吉野彰さんに市民栄誉賞を贈呈



▲市民栄誉賞を贈呈
◀「富士市は第二のふるさと」と笑顔で話す吉野さん

富士市民栄誉賞贈呈式

9月4日 市役所

昨年12月、リチウムイオン電池の開発によりノーベル化学賞を受賞した、旭化成株式会社名誉フェローの吉野彰さんに富士市初となる富士市民栄誉賞を贈呈しました。吉野さんは約10年間、旭化成株式会社富士支社で吉野研究室の室長として研究を行い、富士市にゆかりがあることから、贈ることとなりました。

吉野さんは、「受賞は大変名譽でうれしく思います。子どもたちには、夢を見つけ追いかけてほしいです」と話されました。

富士市の魅力を再発見！



▲暮らしやまちの中にある福祉について考える親子
▶大人も子どももブルーベリー狩りに夢中



親子でめぐる まちのなるほどバスツアー

9月6日 市内各地

税金の使い道を知ってもらい、若い世代に市政への関心を高めてもらおうと実施しました。当日は小学4～6年生とその保護者9組18人が参加しました。

豊宏園（大淵）でのブルーベリー狩りでは、富士市の特産品に舌鼓。そのほか、特別養護老人ホーム「月のあかり」、県富士水泳場、市庁舎などを見学しました。

参加者はそれぞれの見学場所で説明を熱心に聞いたり、写真を撮影したりしながら、楽しく市内の施設について学びました。

平和な世界を願って



▲市長の「核兵器廃絶平和都市宣言」についての説明を熱心に聞く児童
◀平和を願い鐘を鳴らした



国際平和デー ～平和の鐘を鳴らそう～

9月17日 市庁舎屋上

国連が定めた9月21日の国際平和デーに合わせ、平和について考えるイベントを開催しました。2回目の開催となった今年は、岩松小学校3年生の児童約80人が参加しました。

児童は、富士市の「核兵器廃絶平和都市宣言」や「国際平和デー」について説明を受けました。そして、自分たちが考える「平和」について発表し、市長と意見交換をしました。最後に市長と児童代表が鐘を鳴らし、皆で平和を願いました。